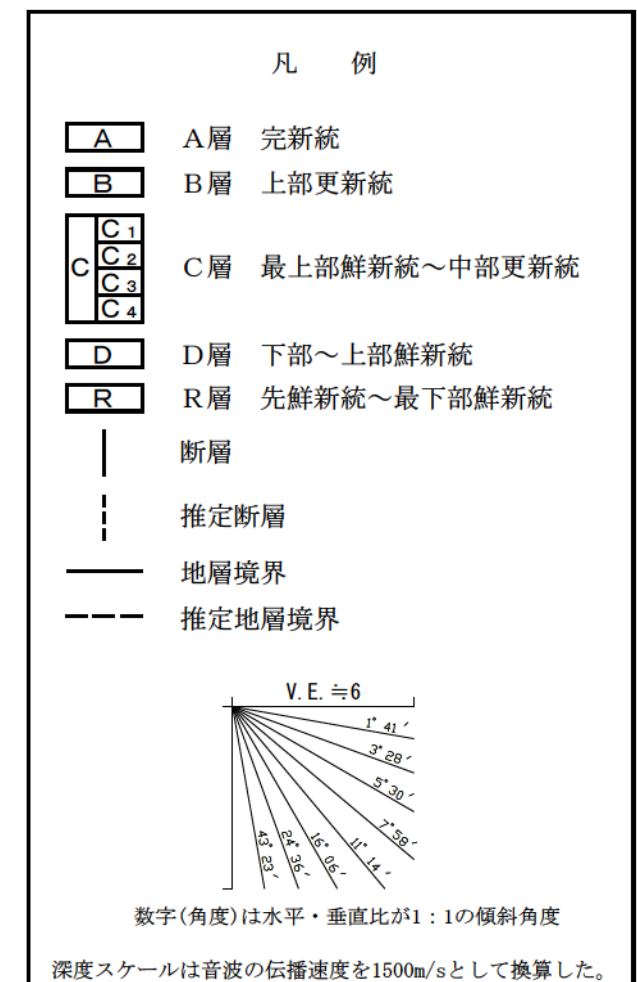
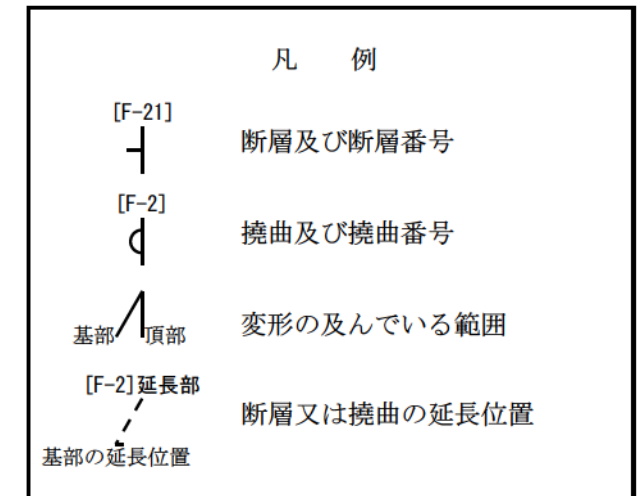
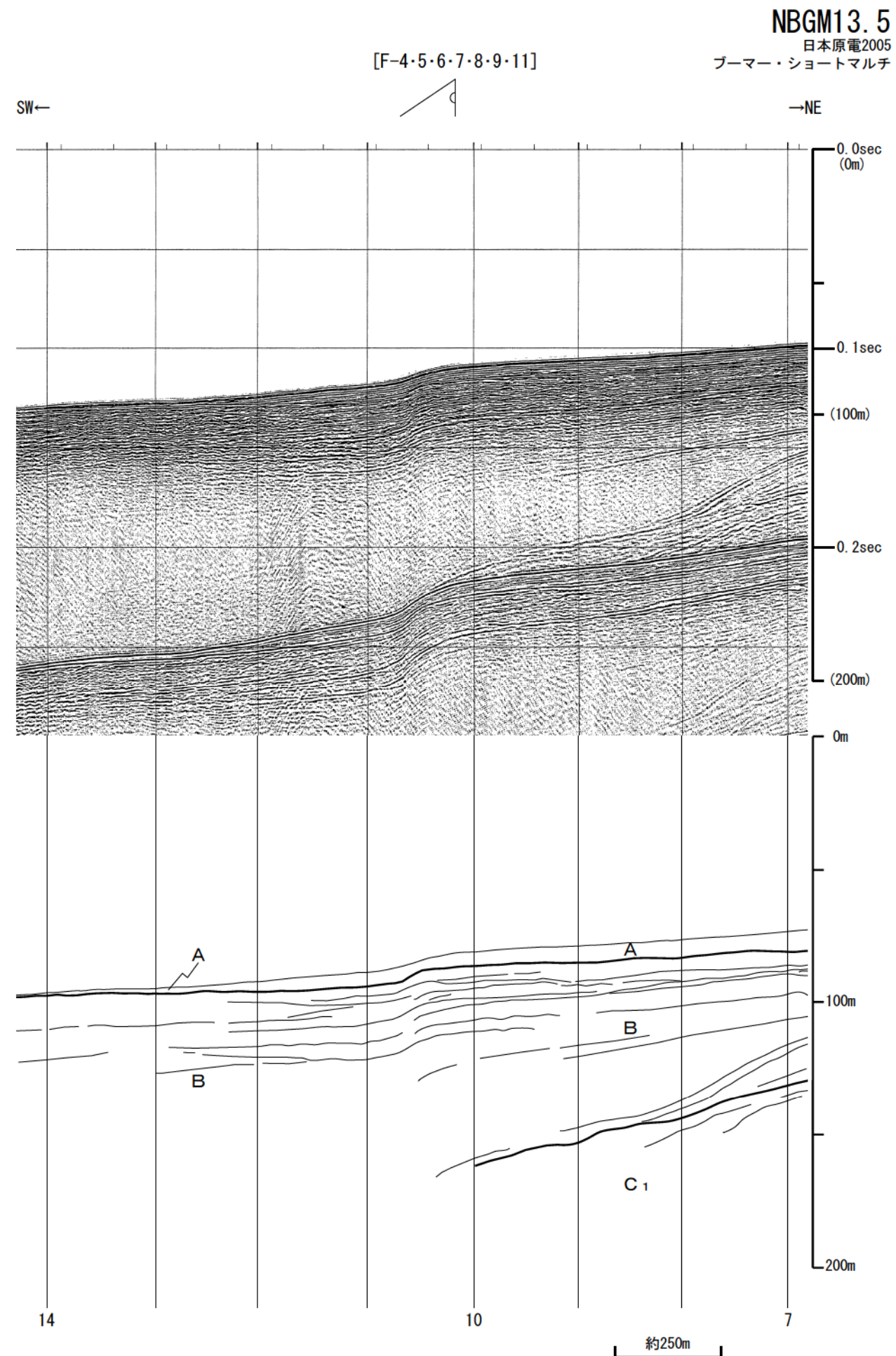
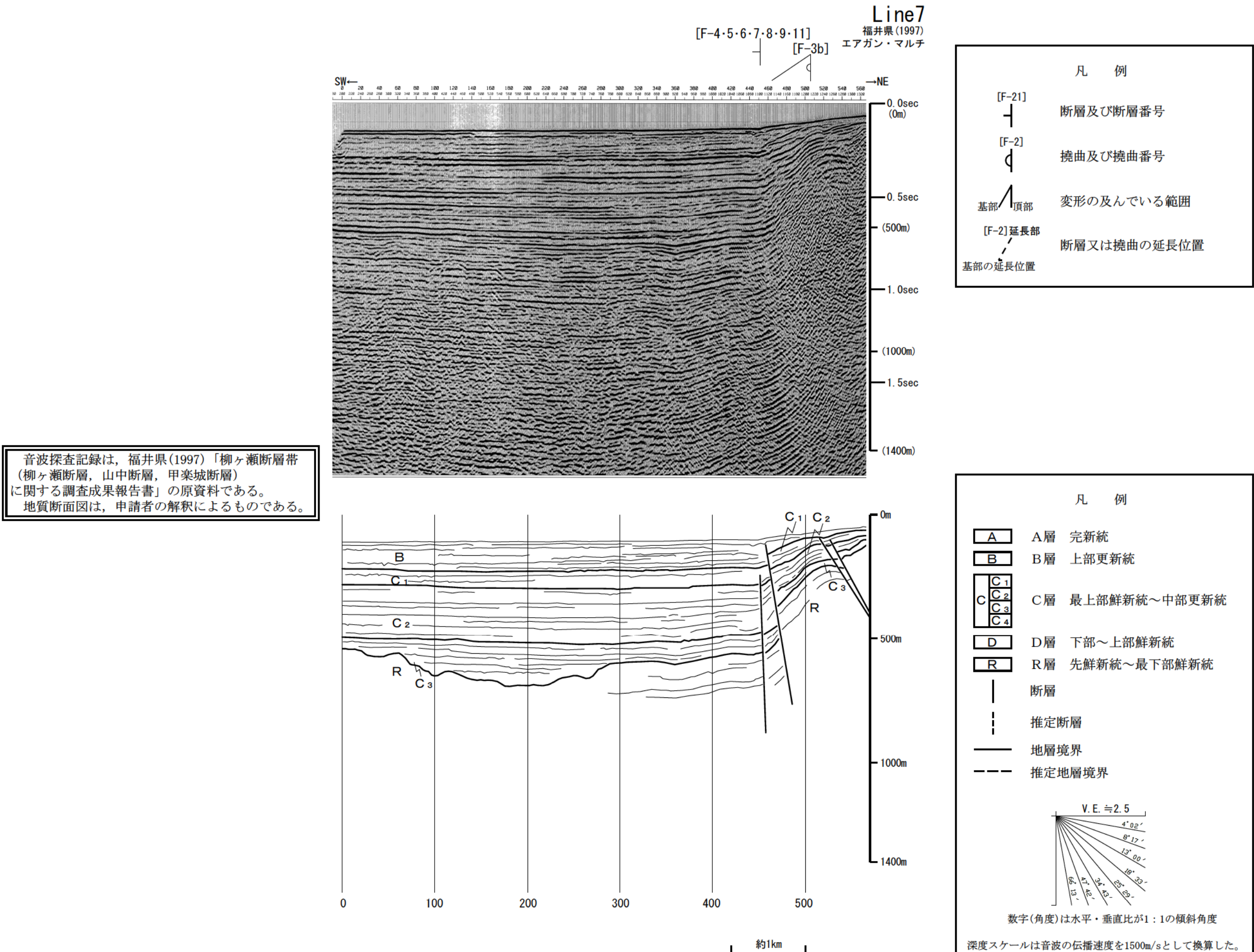
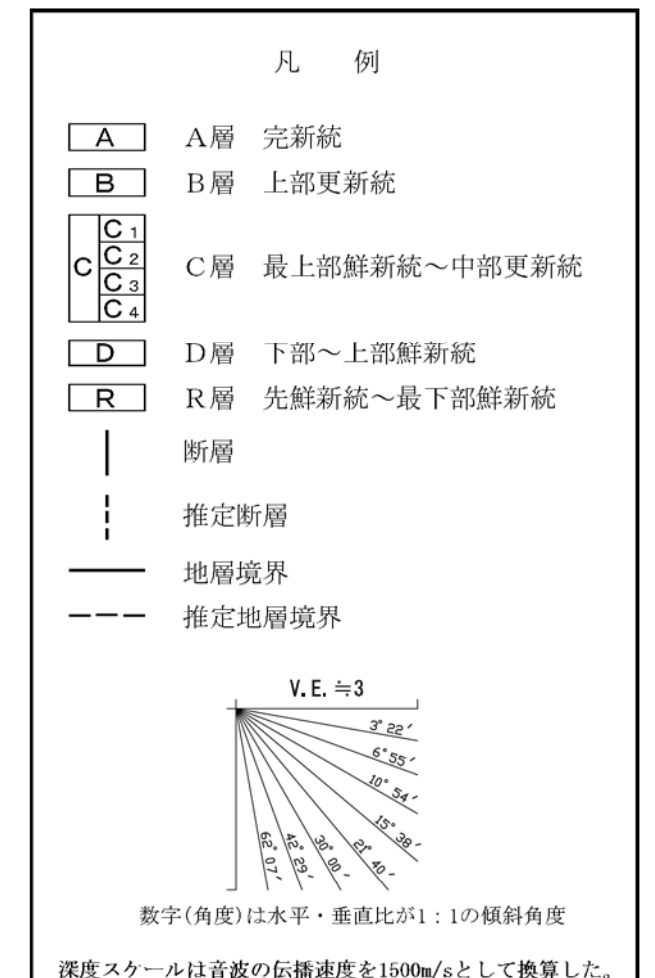
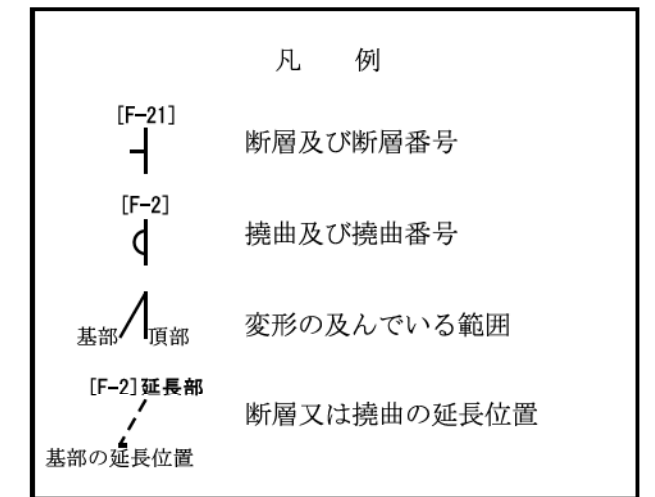
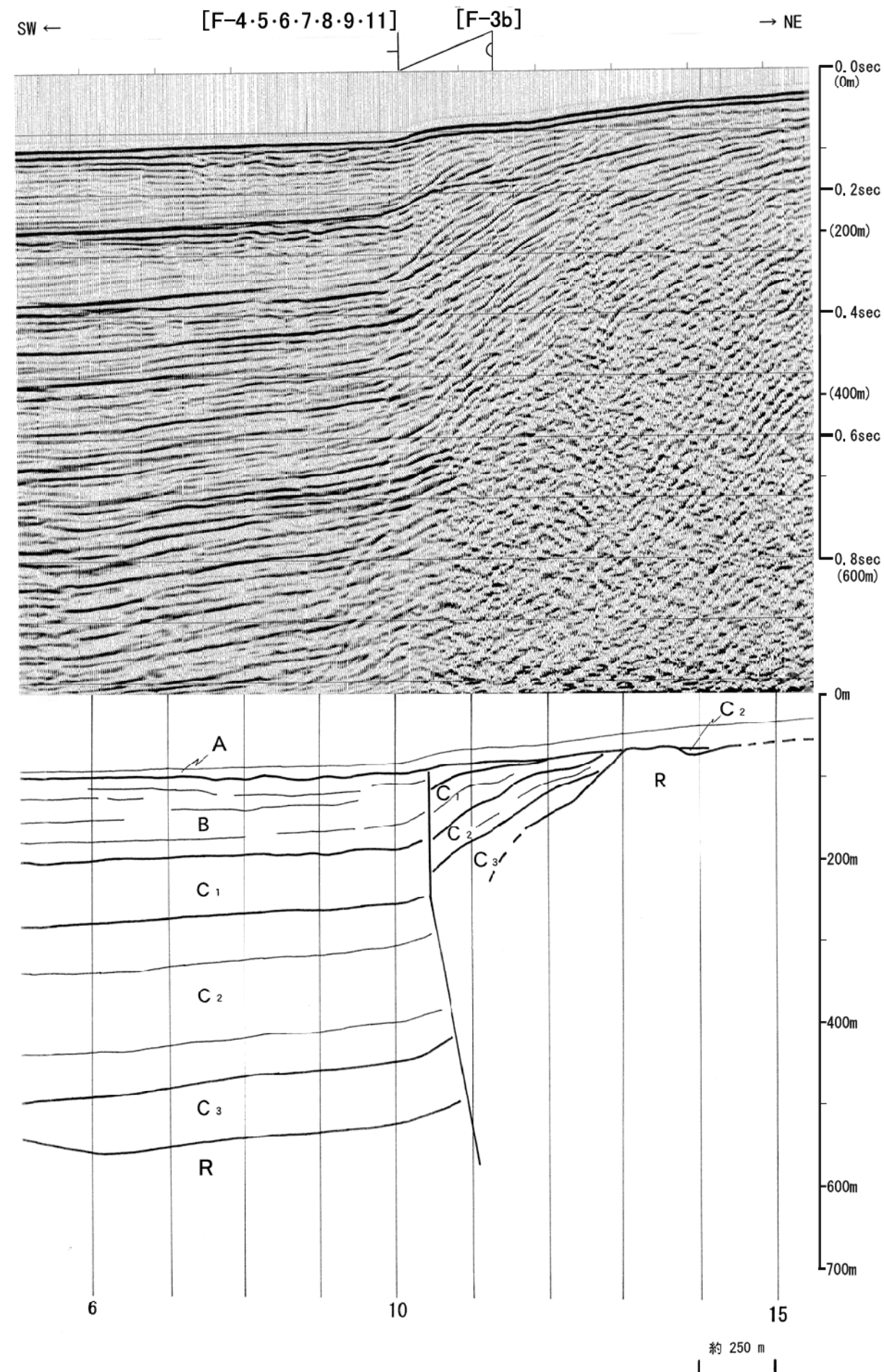




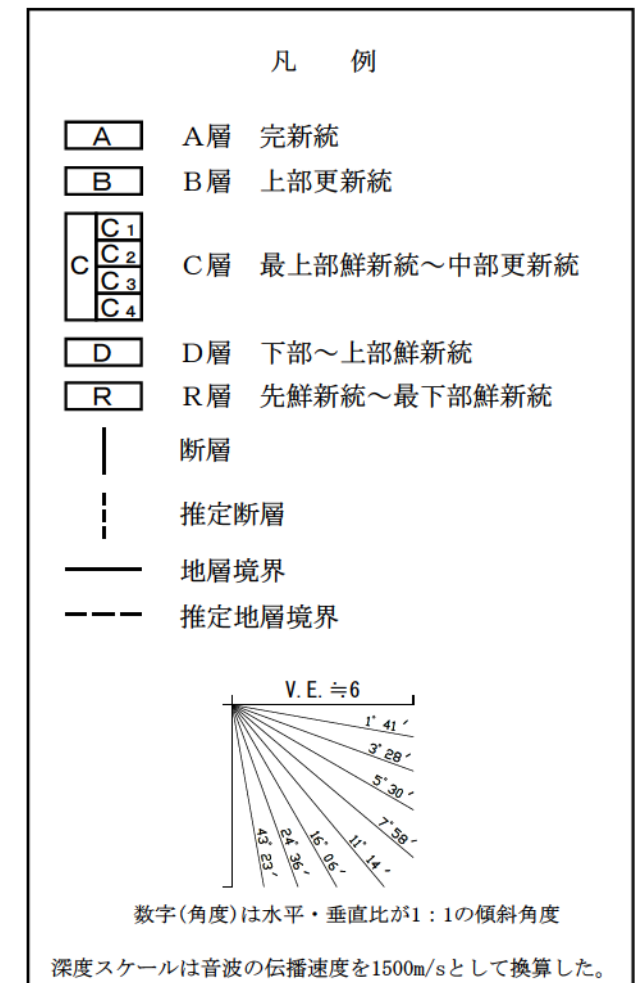
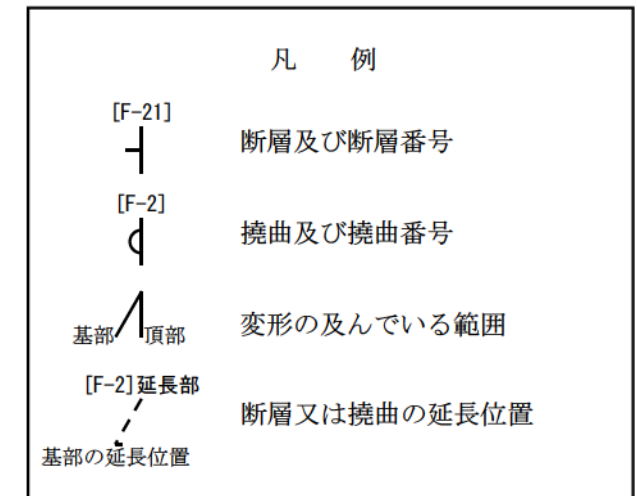
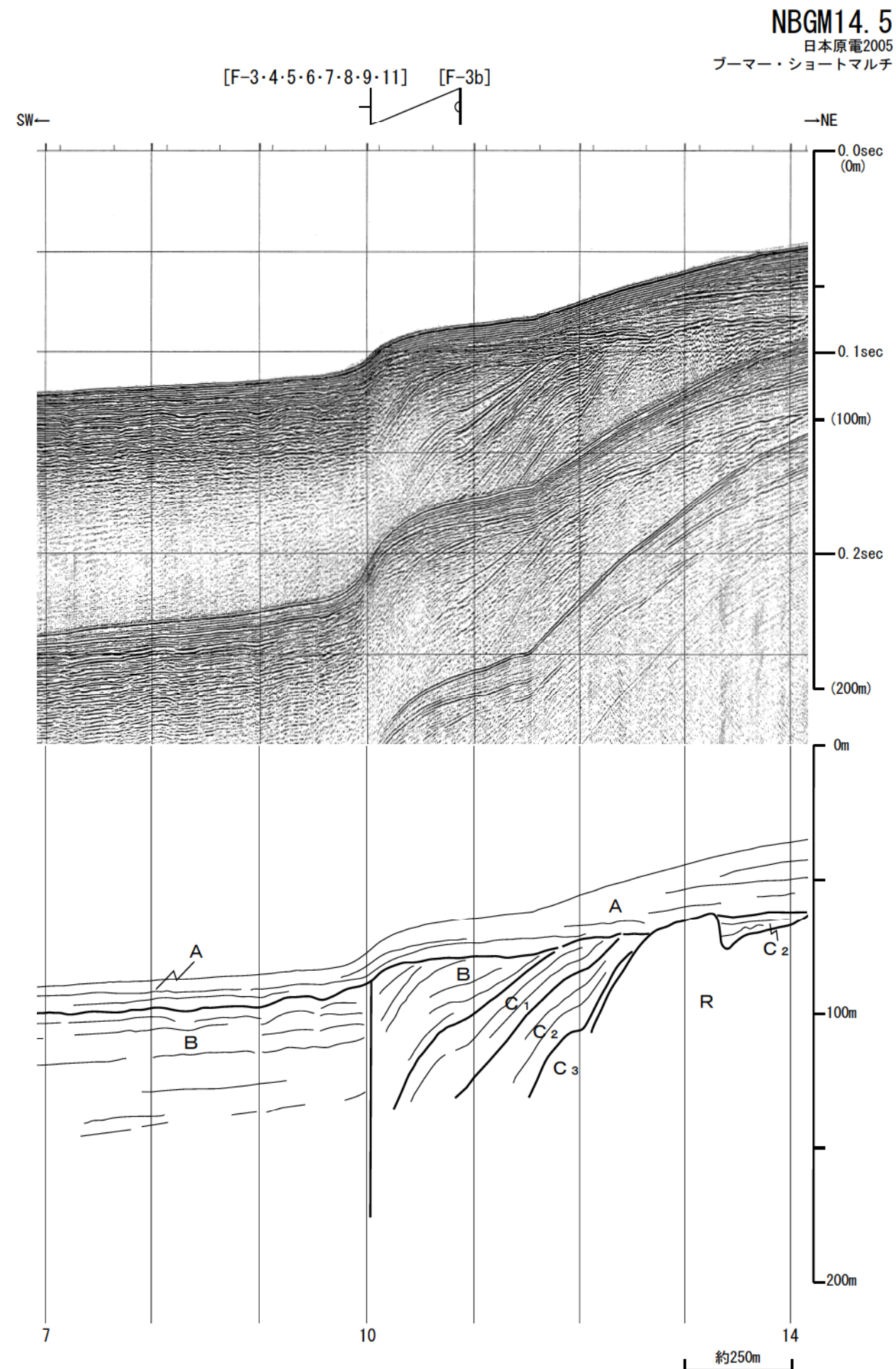
第1.3.57図(15) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBGM13.5)



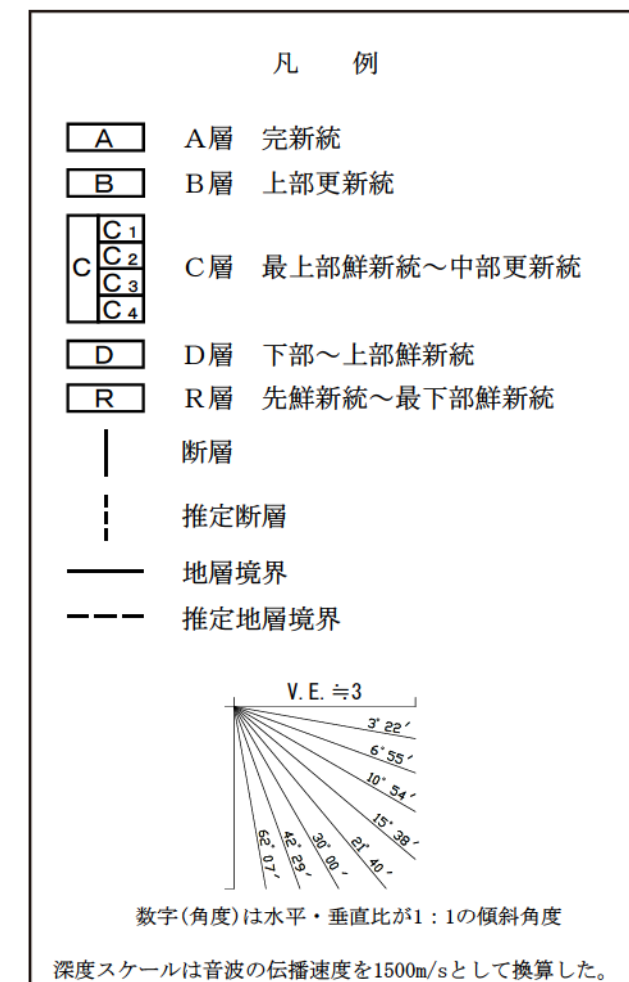
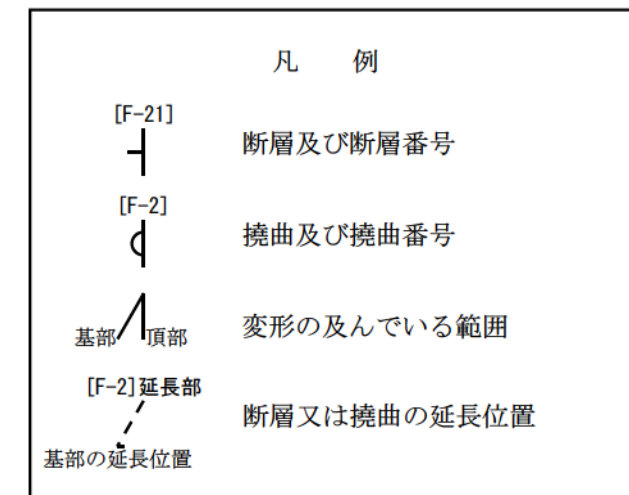
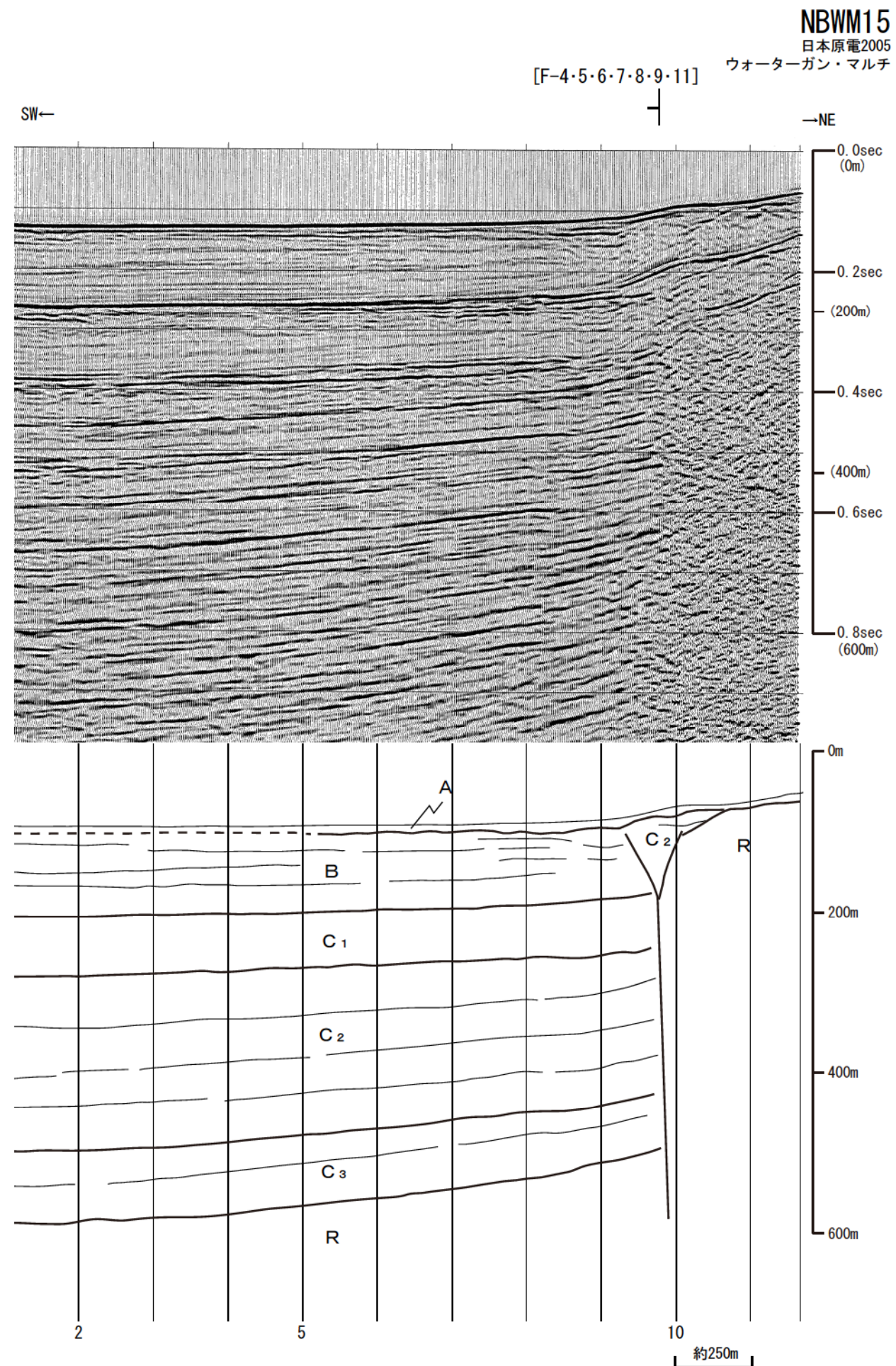
第1.3.57図(16) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (Line7)



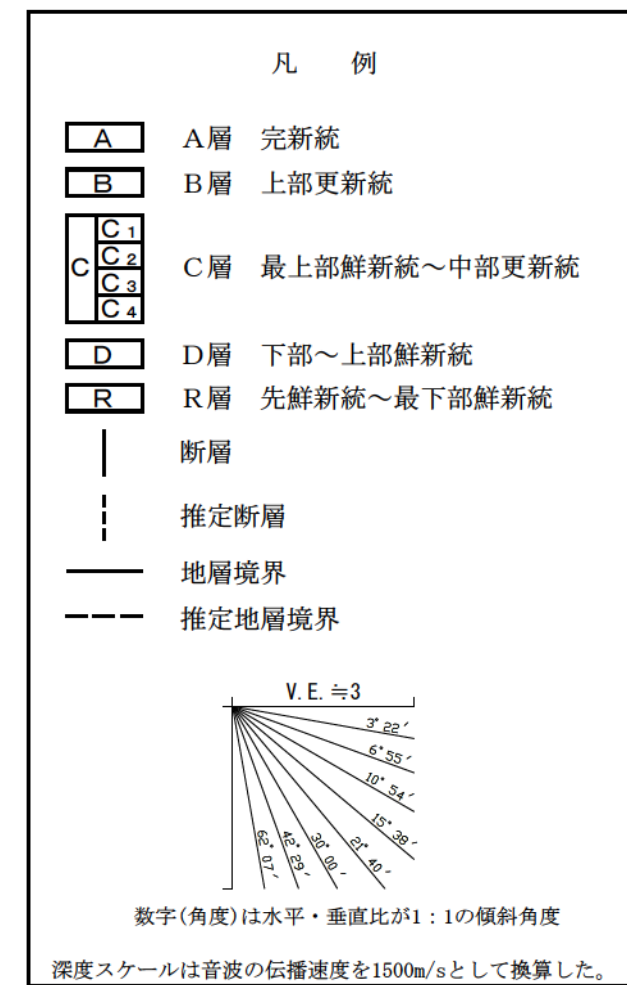
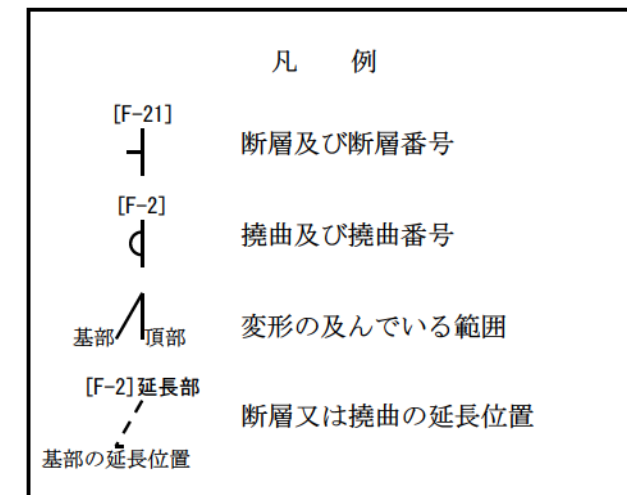
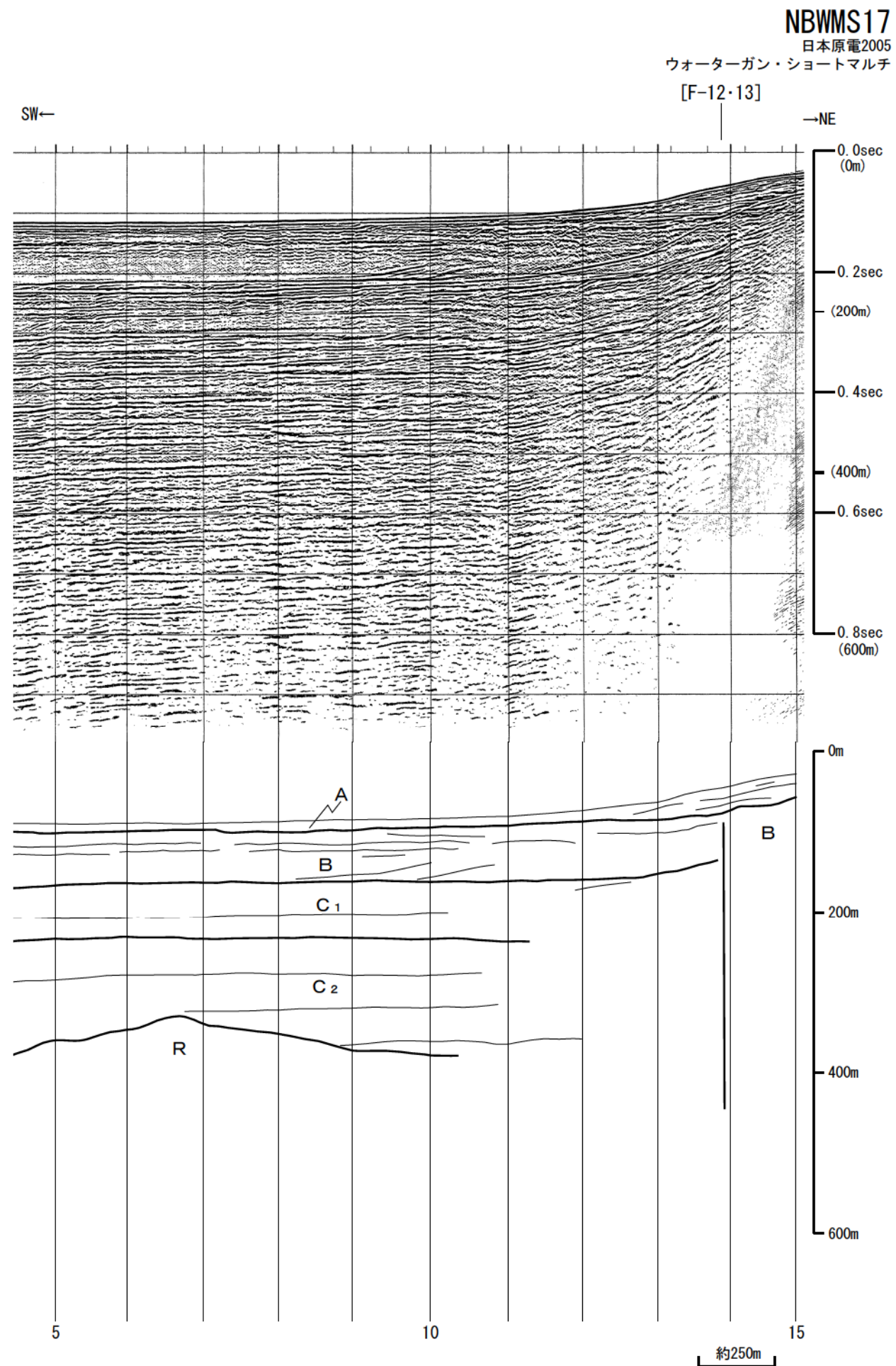
第1.3.57図(17) 安島岬沖断層，和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWM14.5)
6-1-357



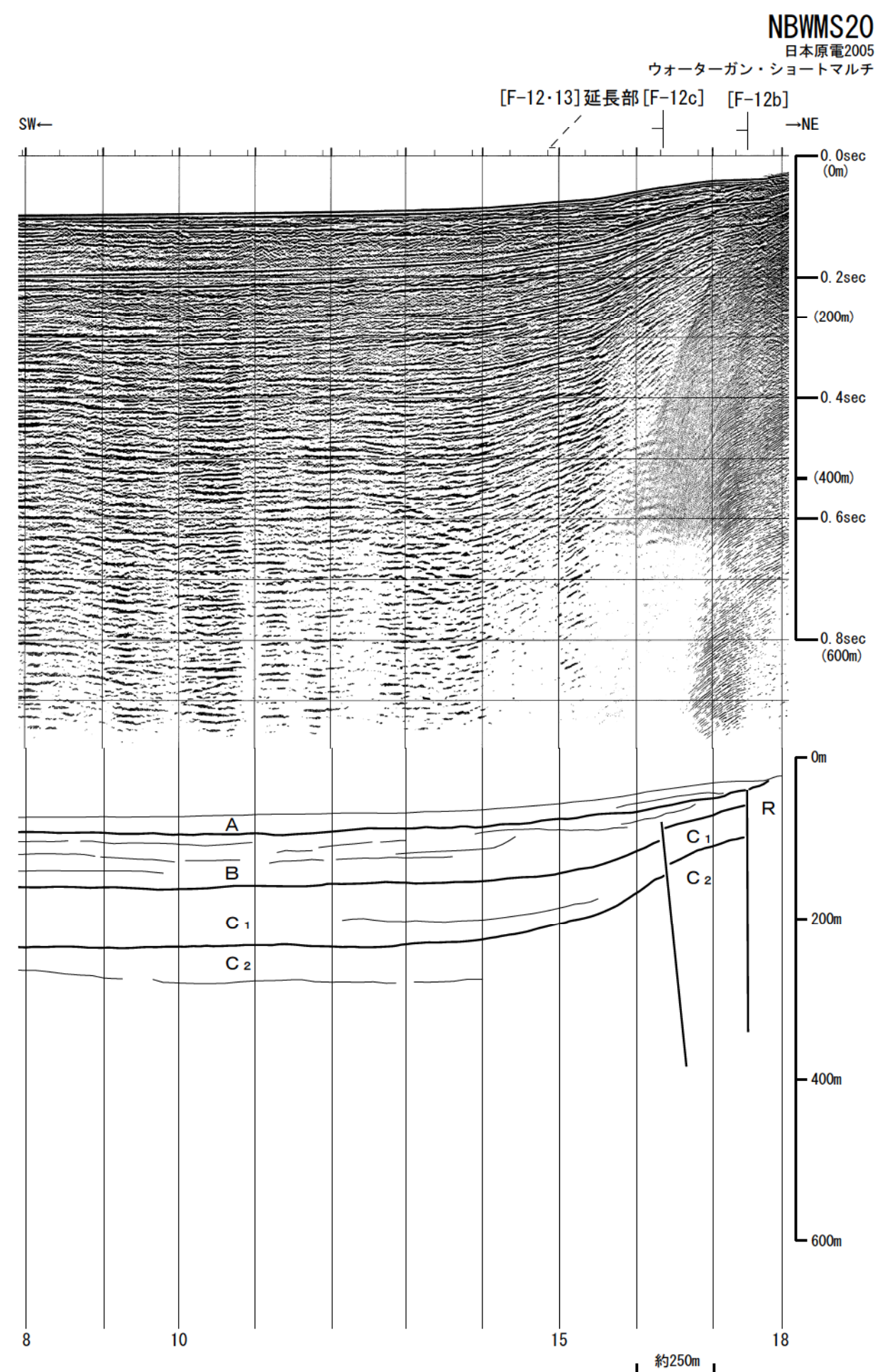
第1. 3. 57図(18) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBGM14. 5)



第1. 3. 57図(19) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWM15)



第1. 3. 57図(20) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWMS17)



凡 例

[F-21]	断層及び断層番号
[F-2]	撓曲及び撓曲番号
基部 頂部	変形の及んでいる範囲
[F-2]延長部	断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置	

凡 例

A	A層 完新統
B	B層 上部更新統
C ₁ C ₂ C ₃ C ₄	C層 最上部鮮新統～中部更新統
D	D層 下部～上部鮮新統
R	R層 先鮮新統～最下部鮮新統
— —	断層
- - -	推定断層
— —	地層境界
- - -	推定地層境界

V.E. ≒ 3

3° 22'
6° 55'
10° 54'
15° 38'
21° 40'
27° 03'
32° 10'

数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1. 3. 57図(21) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWMS20)



凡 例

A	A層 完新統
B	B層 上部更新統
C	C₁ C₂ C₃ C₄
D	D層 下部～上部鮮新統
R	R層 先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

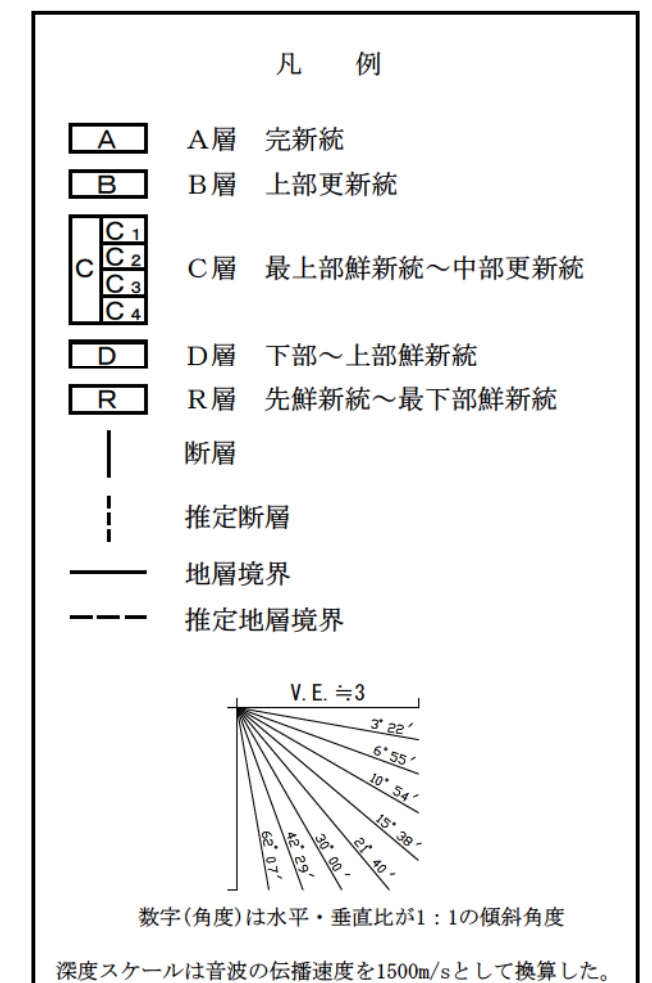
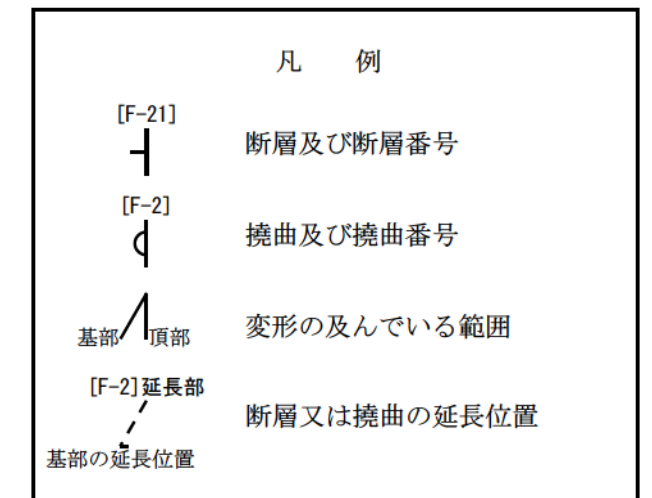
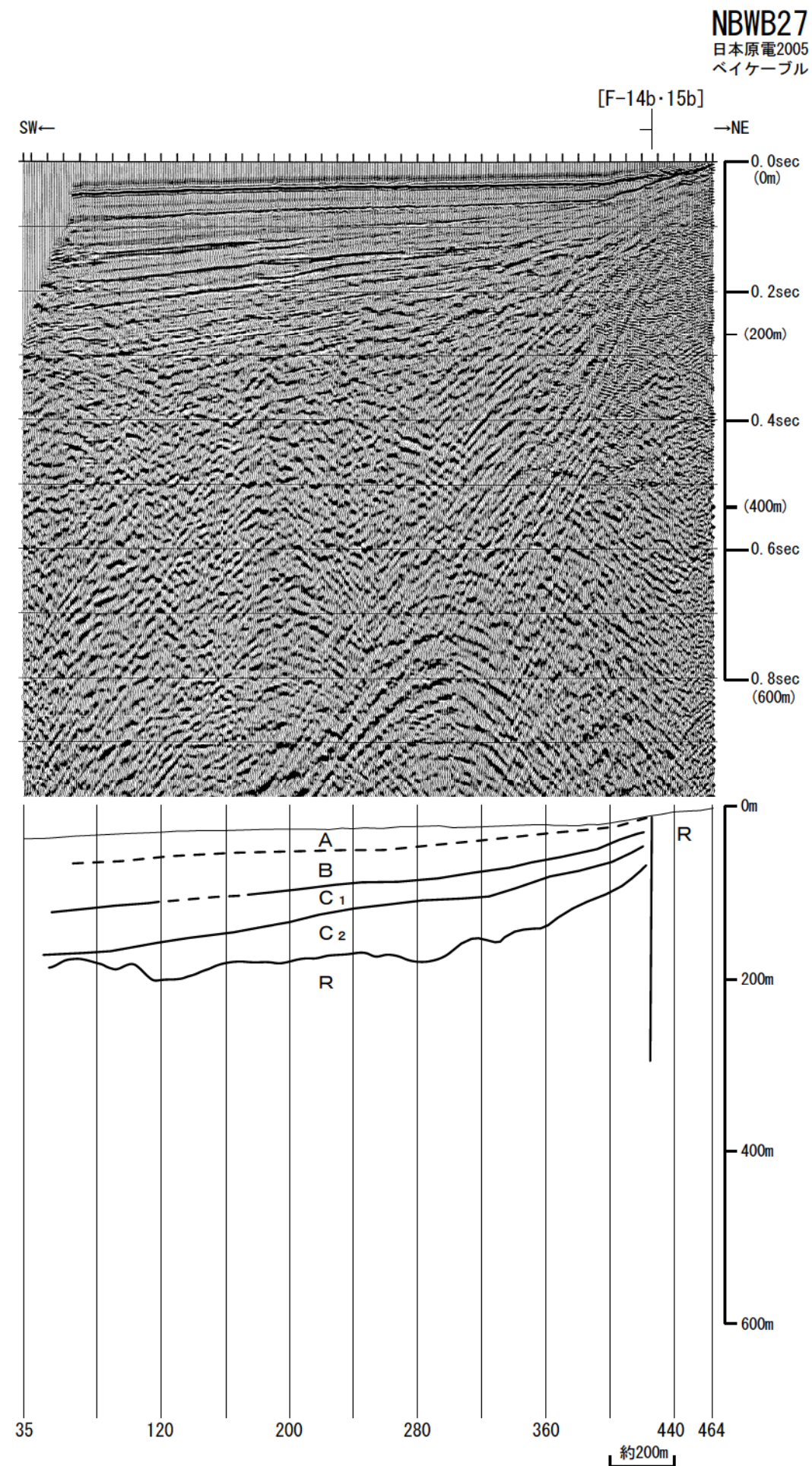
地層境界

推定地層境界

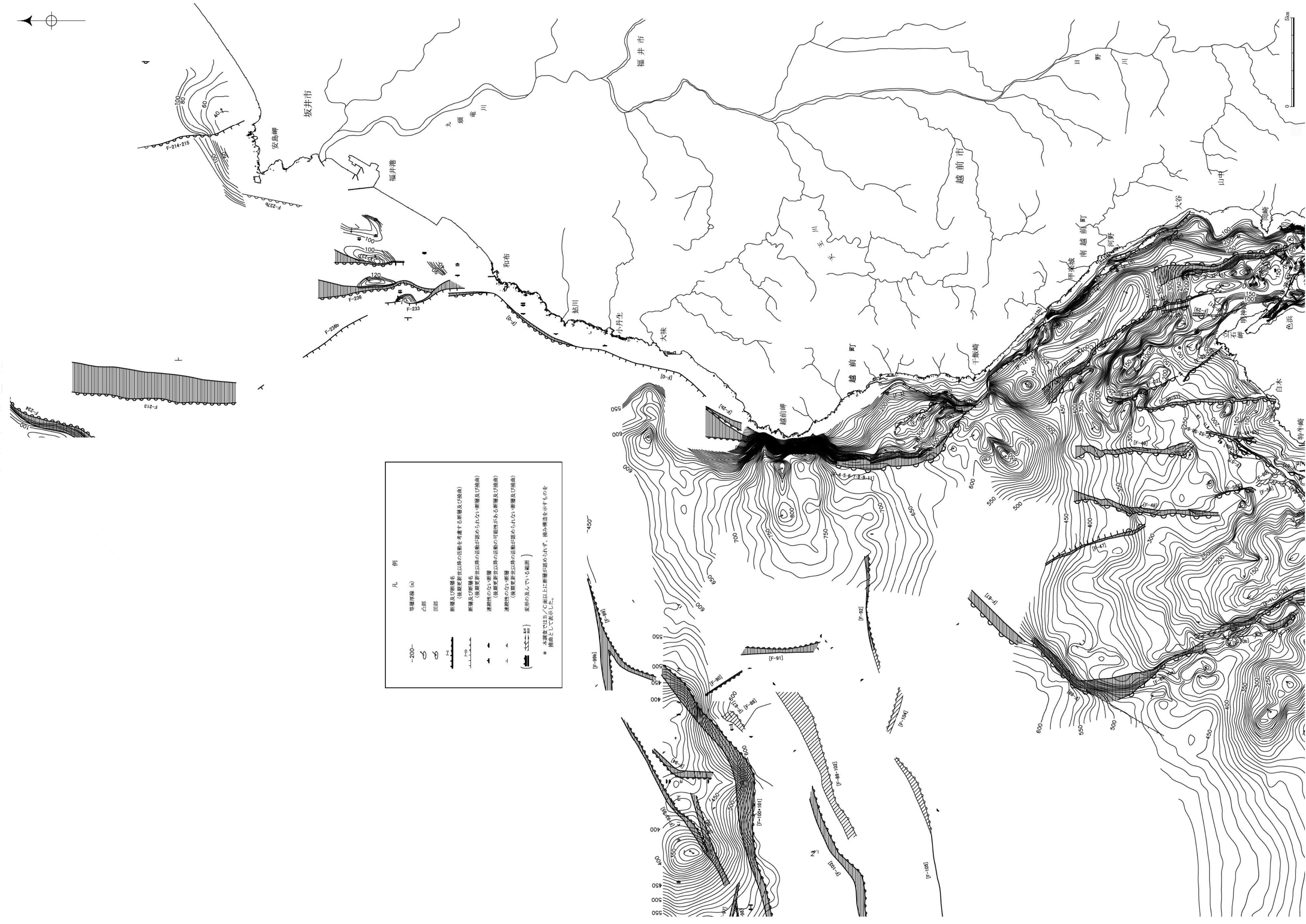
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

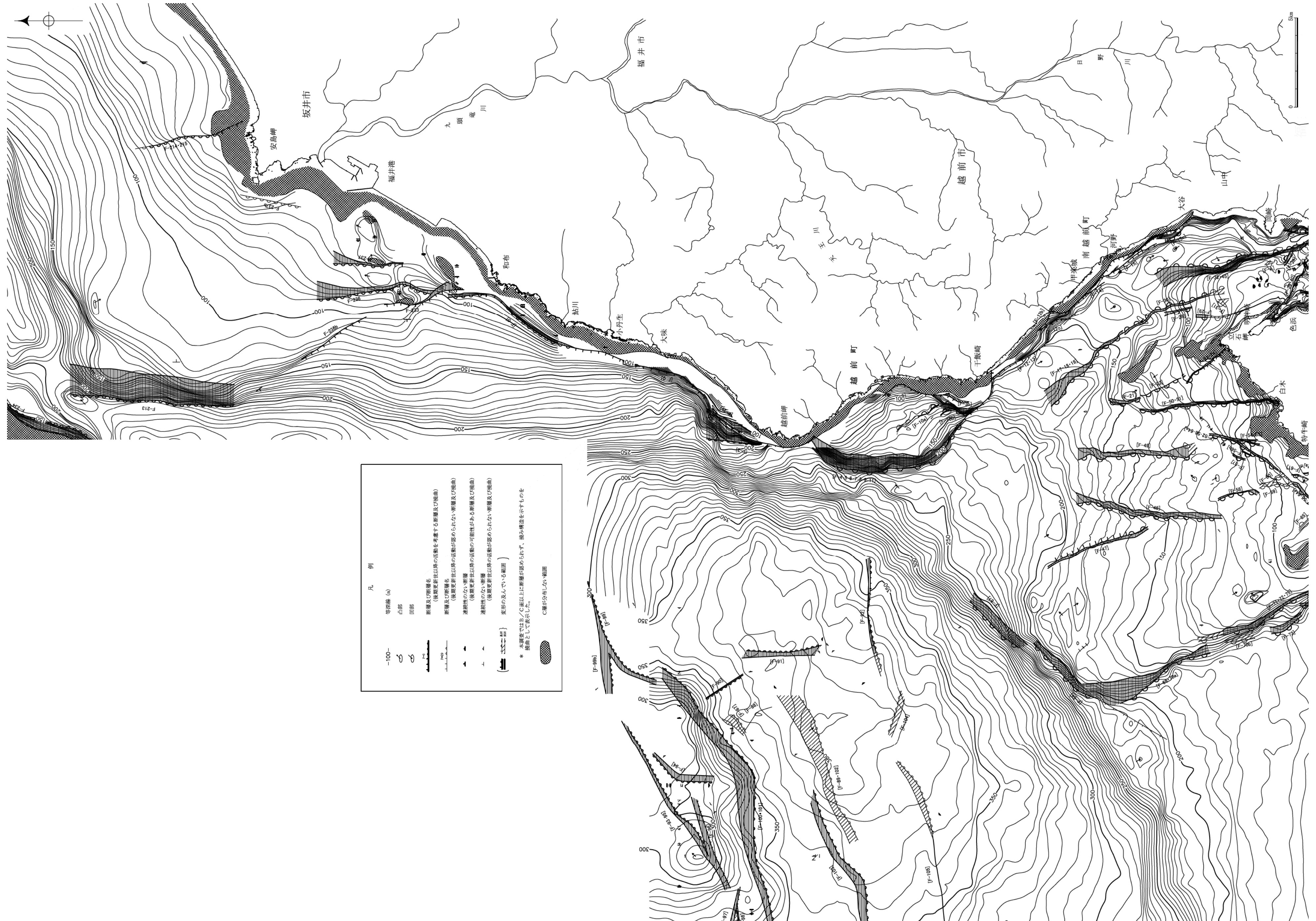
6-1-363



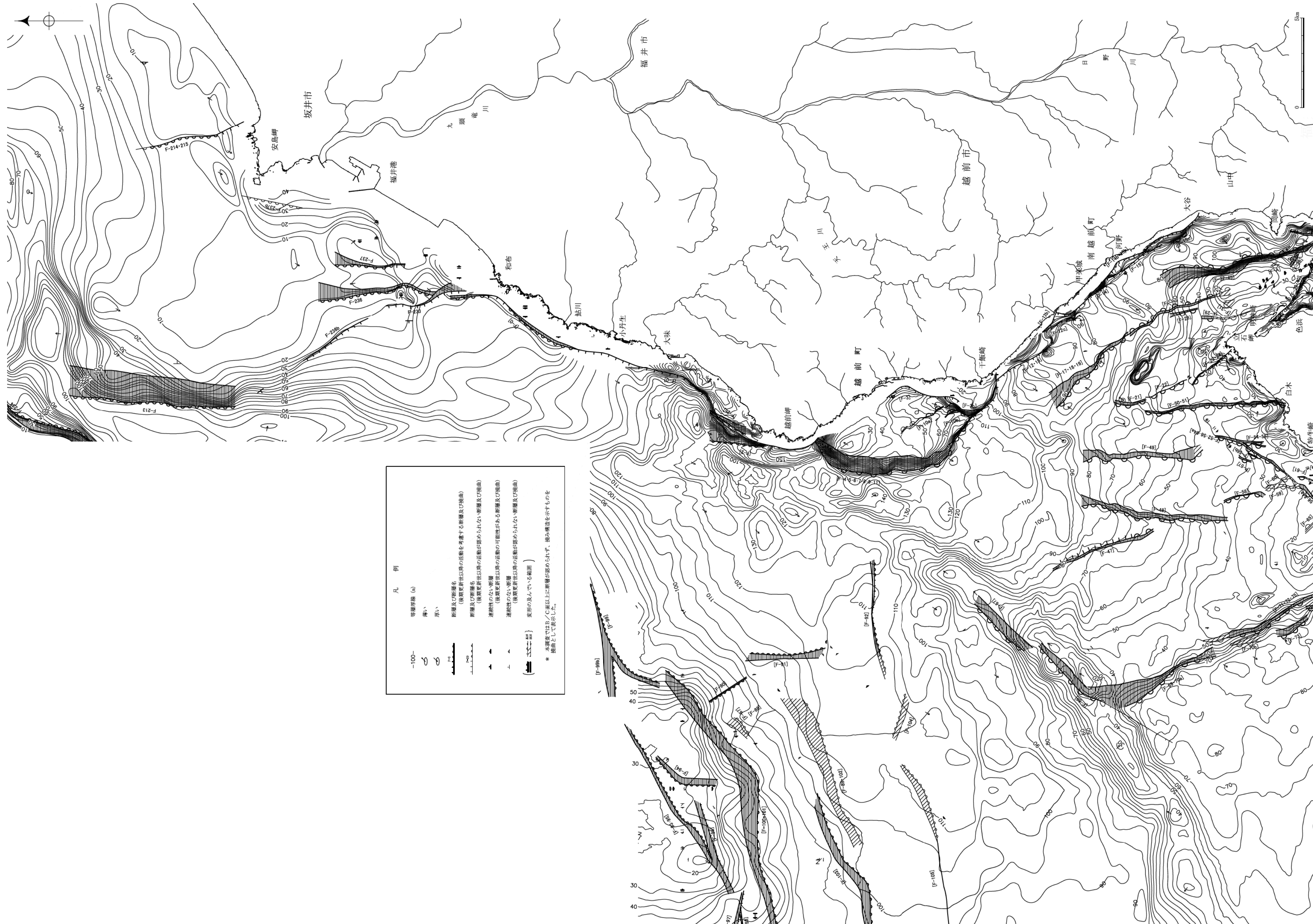
第1.3.57図(24) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWB27)



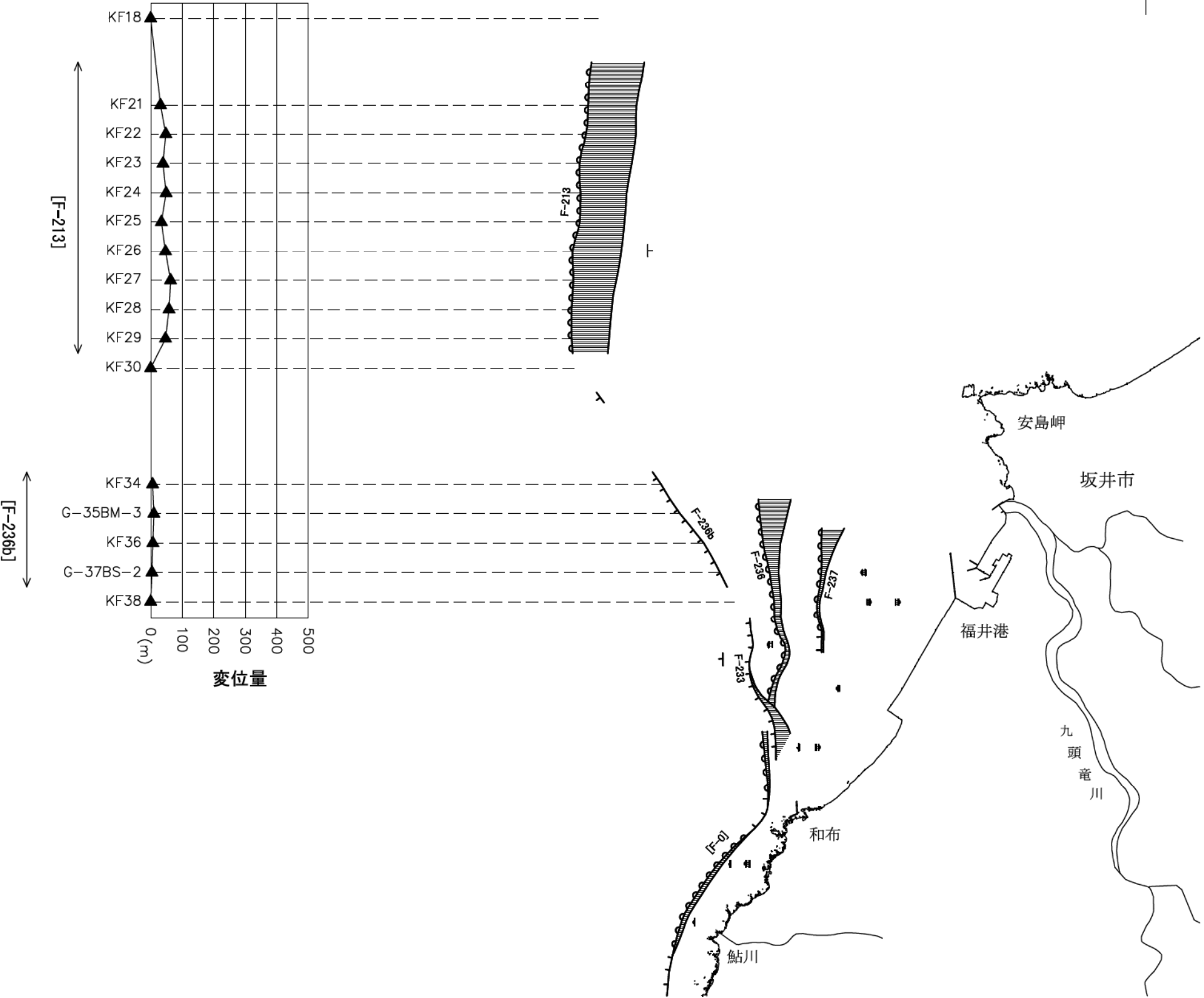
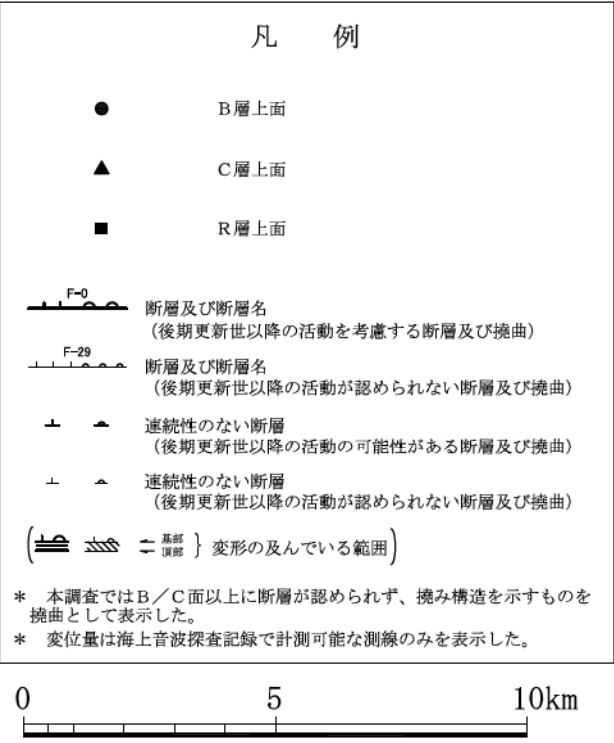
第1.3.58図 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲東城断層周辺の等深線図（R層上面）



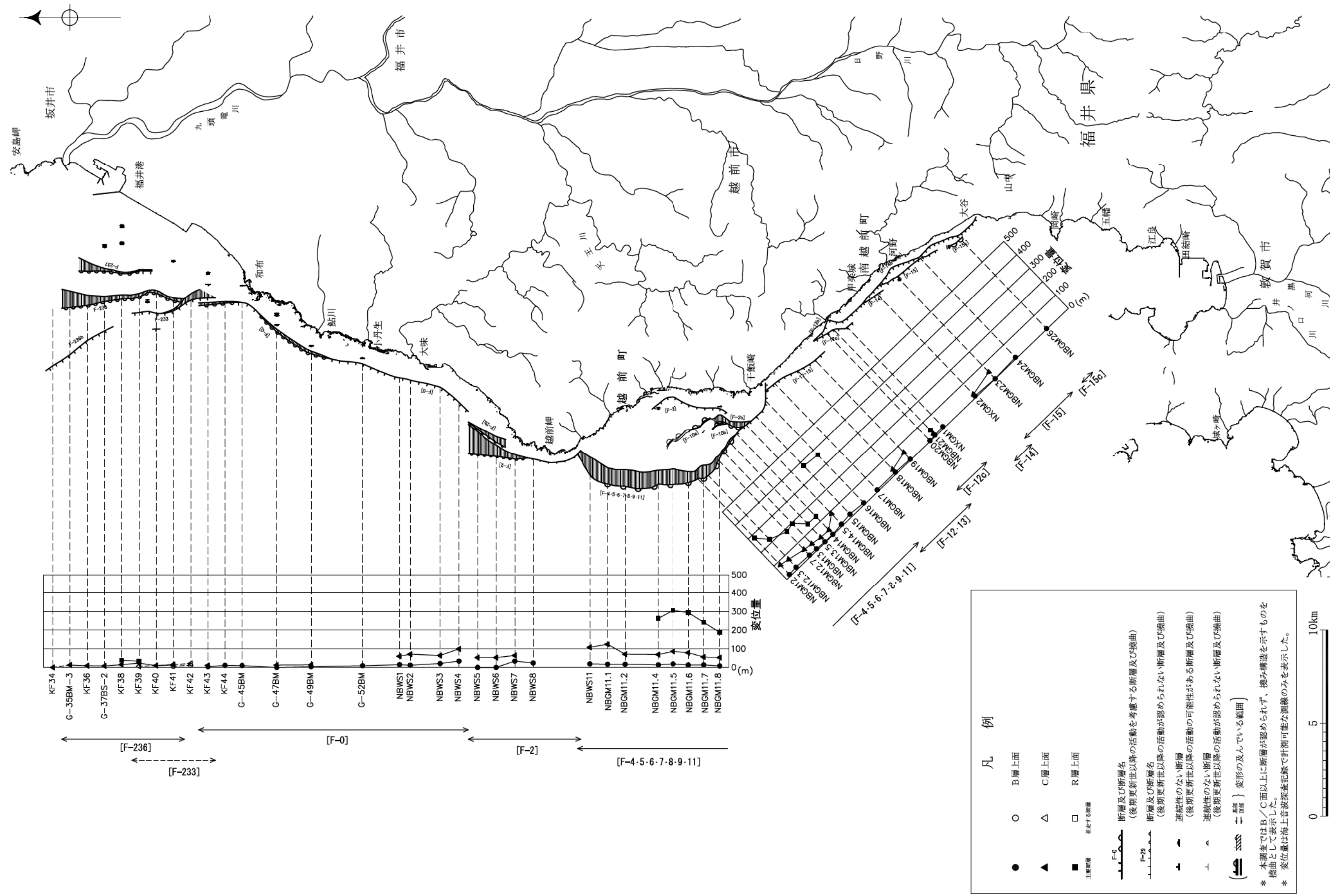
第1.3.59図 安島岬沖断層、和布一干飯崎沖断層、甲斐城断層周辺の等深線図 (C層上面)



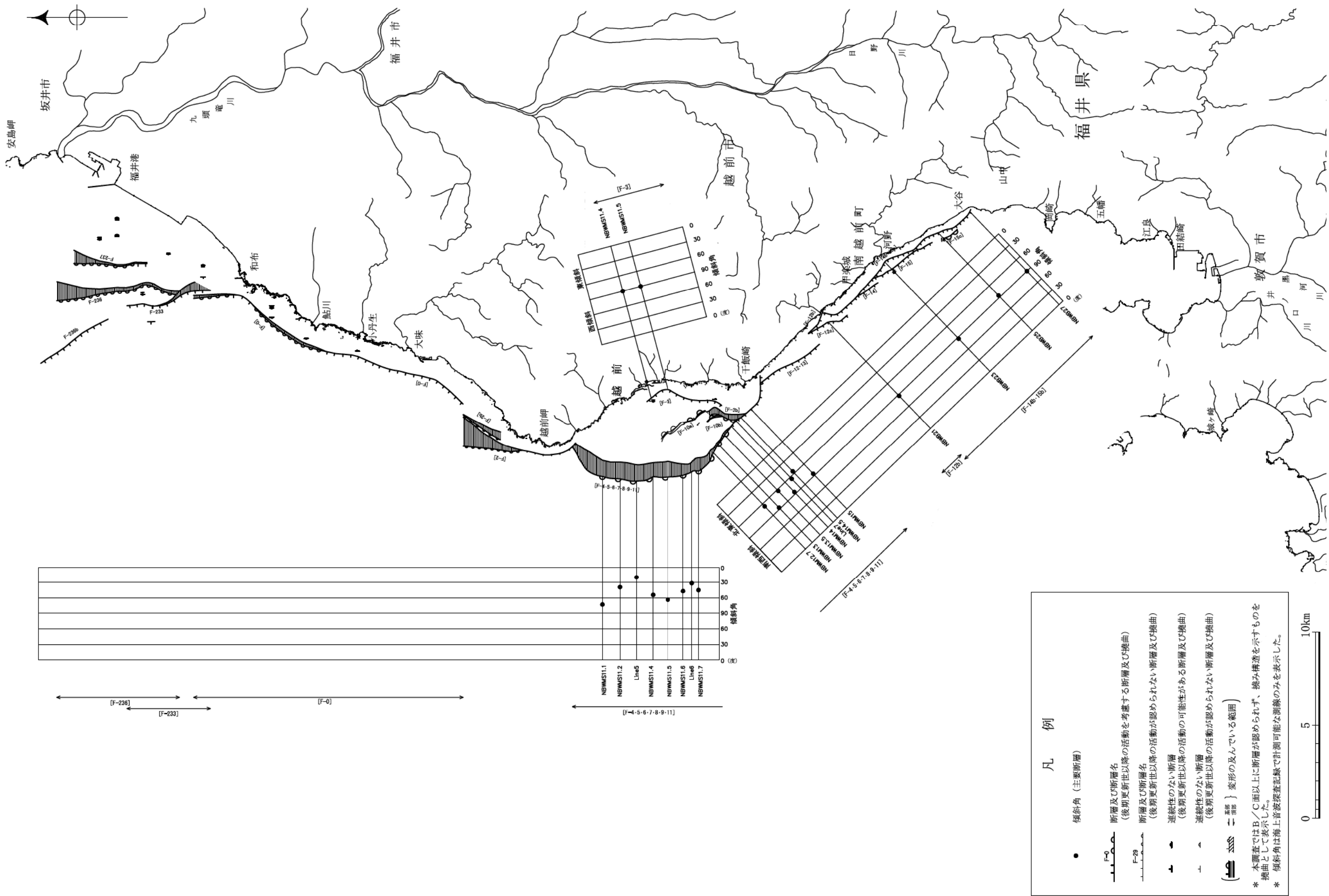
第1.3.60図 安島岬断層、和布一干飯崎断層、甲斐断層周辺のA層・B層の等層厚線図

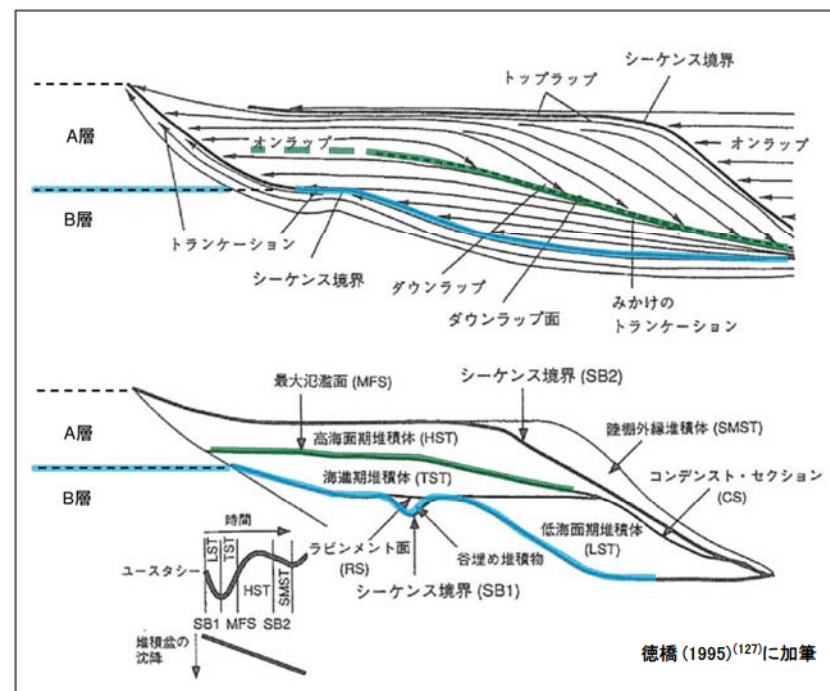
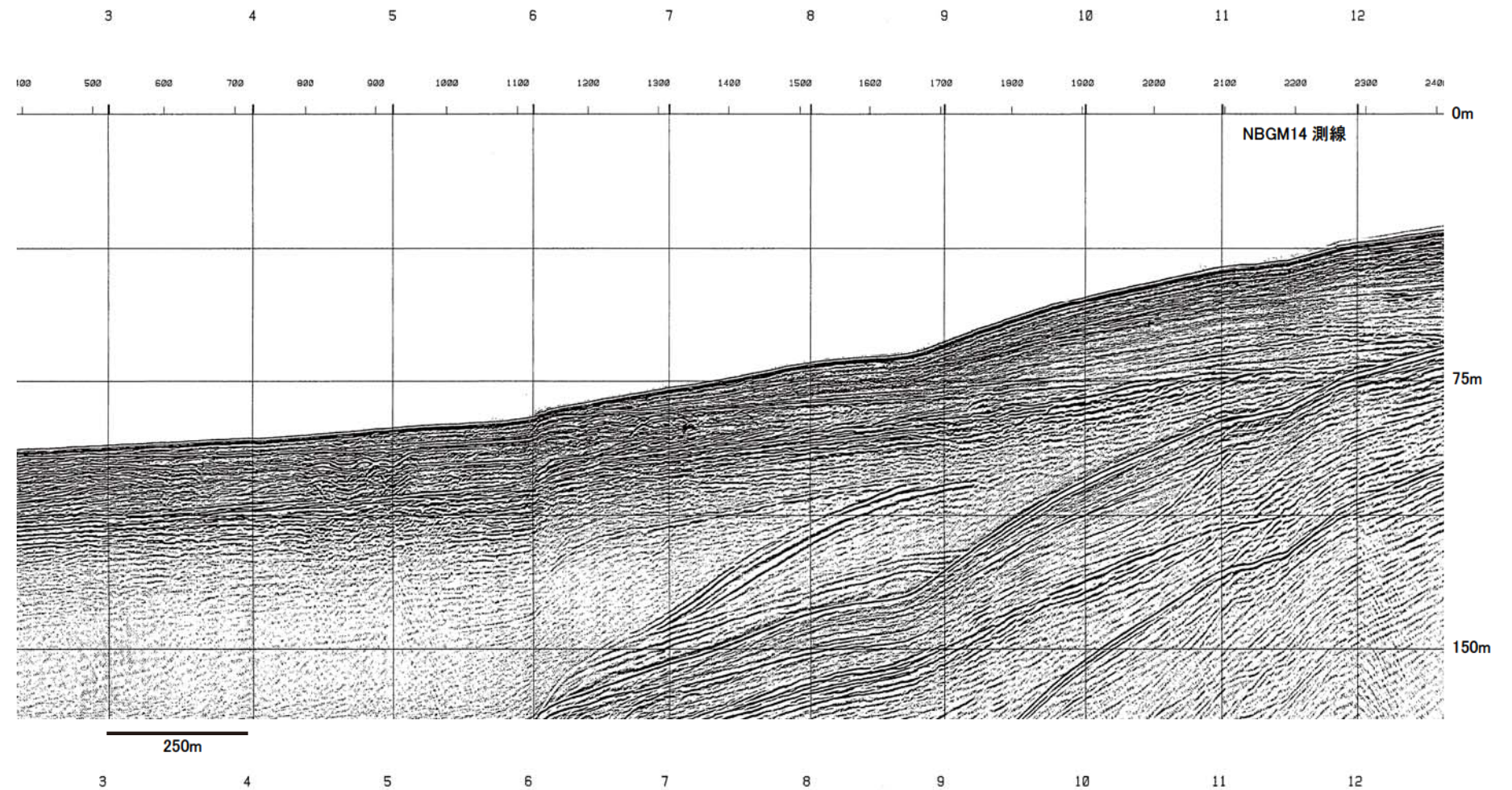
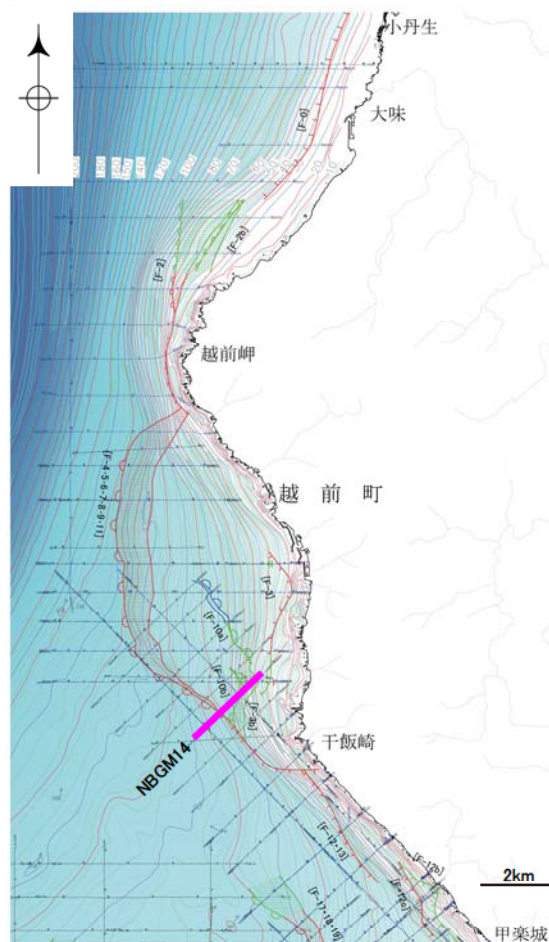


第1.3.61図(1) 安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の変位量分布図(1)

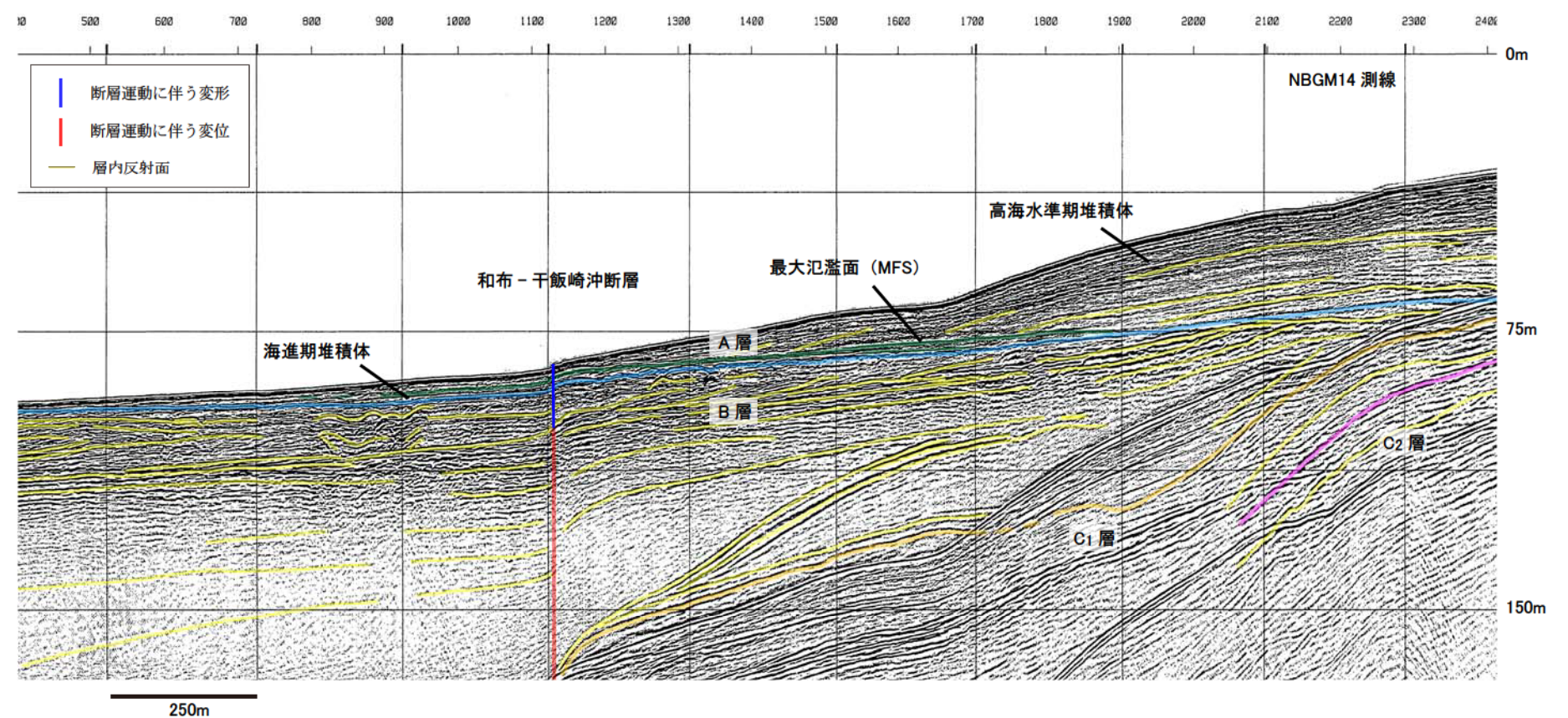


第1.3.61図(2) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の変位量分布図 (2)

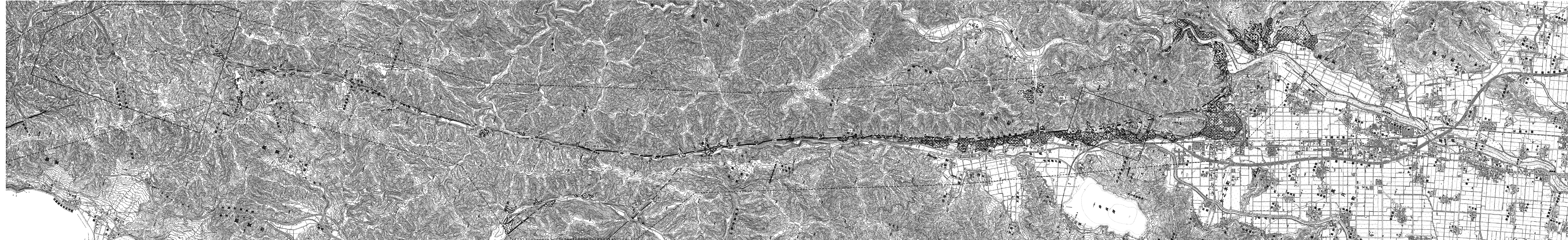




和布-干飯崎沖断層は、ダウンラップ面（最大氾濫面）及び高海水準期（約6,000年前以降）の堆積物に変形を及ぼしており、海底面にも明瞭な変形が認められる。



第1.3.63図 和布-干飯崎沖断層の海域調査に基づく最新活動に関する検討結果



地形面の凡例

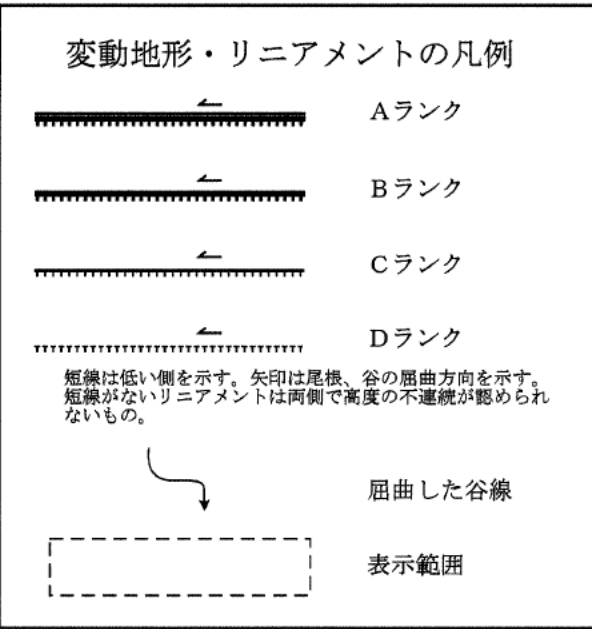
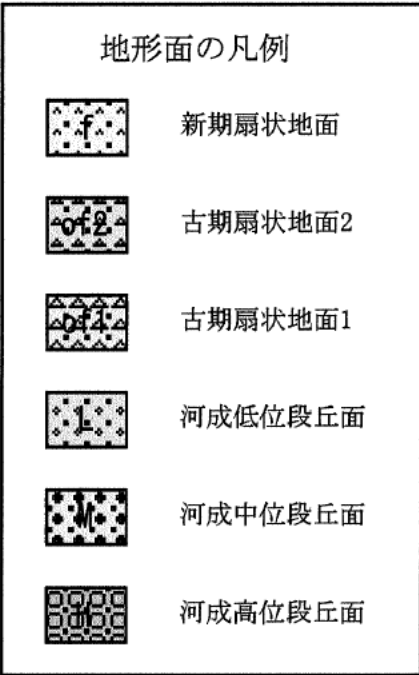
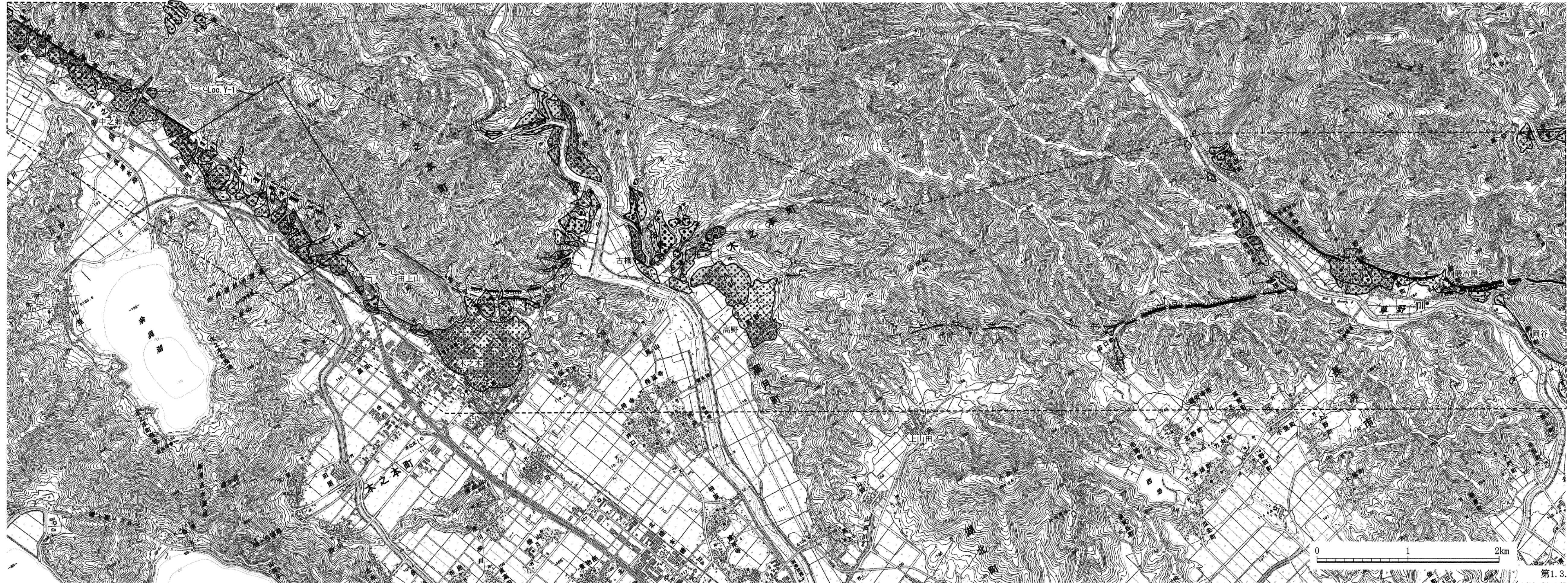
	新期扇状地面
	古期扇状地面2
	古期扇状地面1
	河成低位段丘面
	河成中位段丘面
	河成高位段丘面

変動地形・リニアメントの凡例

	Aランク
	Bランク
	Cランク
	Dランク
短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。 屈曲のないリニアメントは両側での不連続が認められないもの。	
	屈曲した谷線
	屈曲した尾根線
	表示範囲

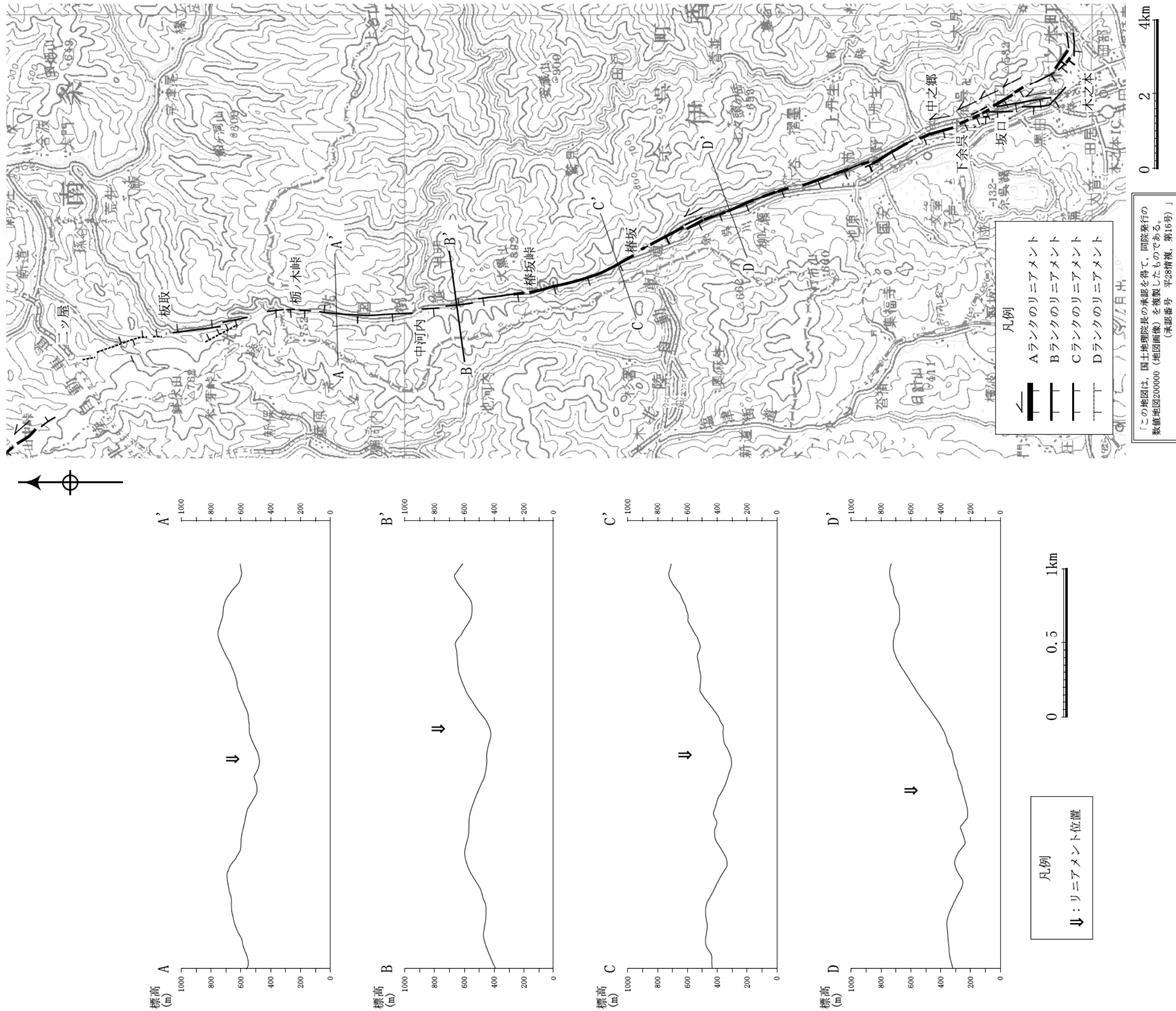
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図2500（地図画像）を複製したものである。
（複製番号 平23第1号）」

第1.3.64図(1) 柳ヶ瀬断層周辺の地形調査結果（その1）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平28博復 第16号）」

第1.3.64図(2) 柳ヶ瀬断層周辺の地形調査結果（その2）



第1.3.65図 柳ヶ瀬断面沿いの地形断面図

変動地形・リニアメントの凡例

柳ヶ瀬断層付近の尾根

柳ヶ瀬断層付近の谷

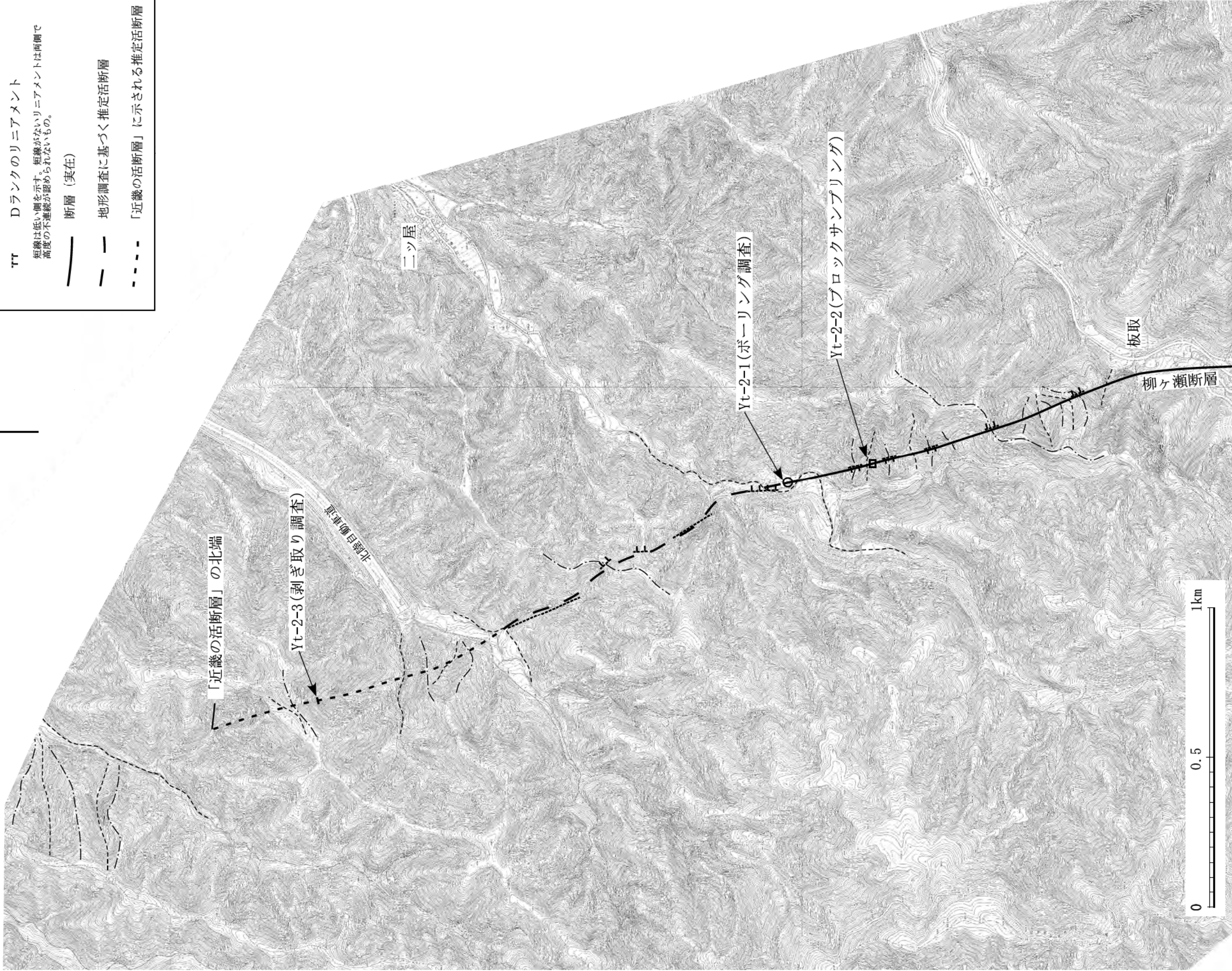
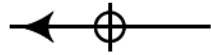
TT Dラングのリニアメント

短線は低い側を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。

断層 (実在)

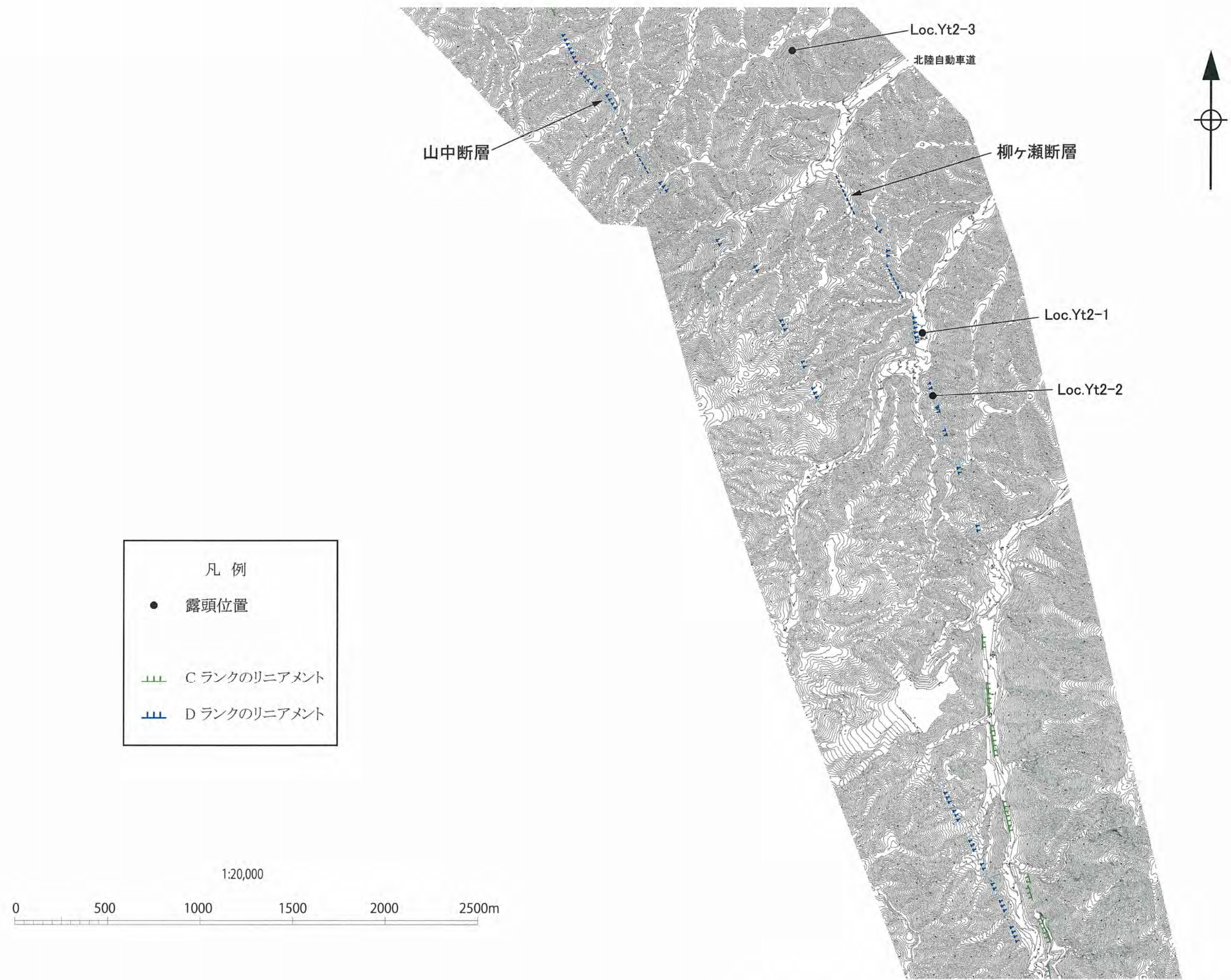
地形調査に基づく推定活断層

「近畿の活断層」に示される推定活断層



地形調査によれば北陸自動車道横断地点付近までは尾根、河谷の屈曲が否定できない。「近畿の活断層」では、さらに北方延長約1km区間に推定活断層を図示している。

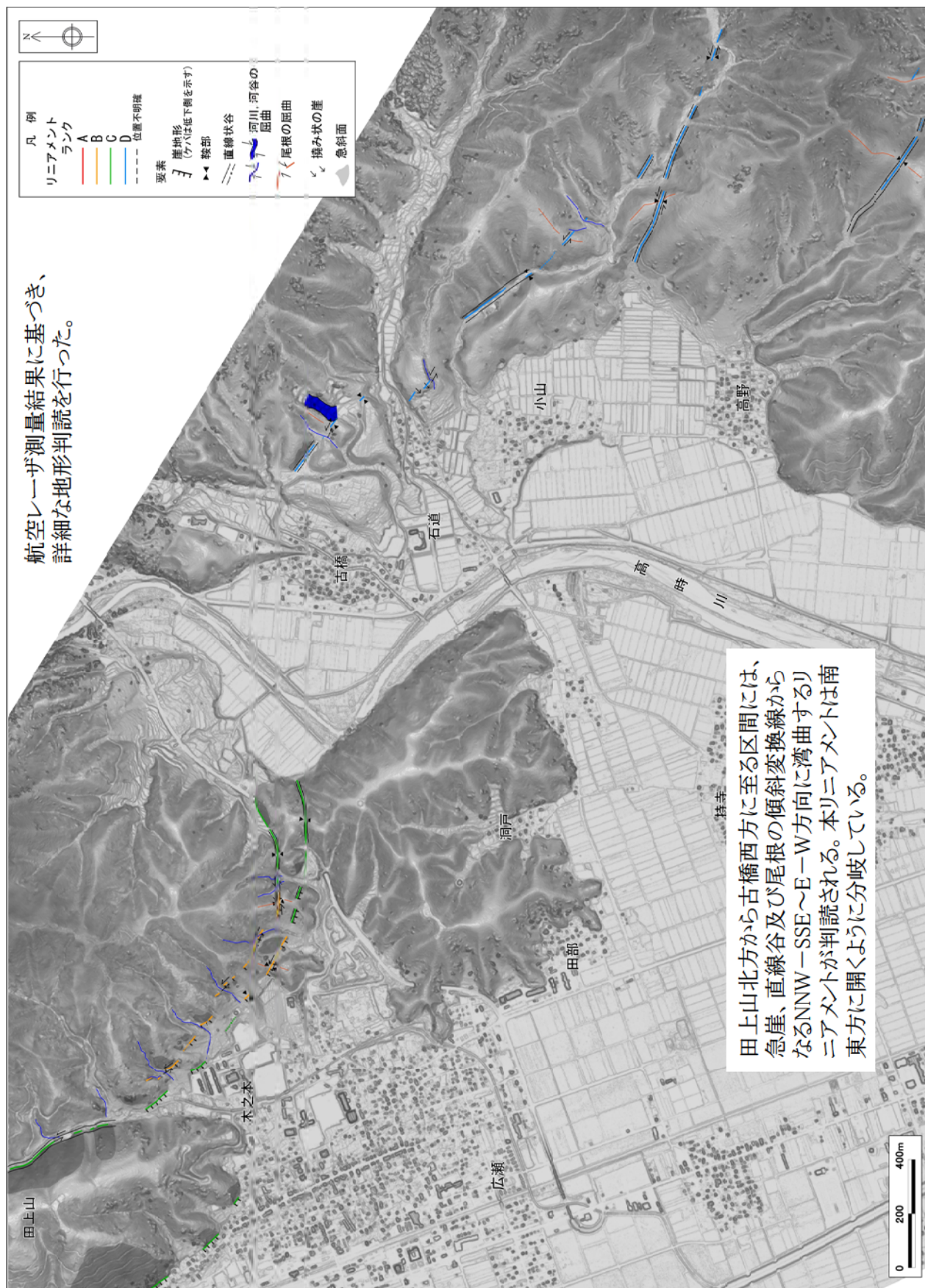
第1.3.66図 柳ヶ瀬断層 ニッ屋西方付近の地形調査結果 (Loc. Yt-8)



第1. 3. 67図 柳ヶ瀬断層北端付近 航空レーザー測量により作成した地形図



第1. 3. 68図 柳ヶ瀬断層 坂口付近の地形調査結果 (Loc. Y-1)



第 1.3.69 図 柳ヶ瀬断層南端付近 航空レーザー測量により作成した地形図